

えております。

今年度もよろしくお願ひいたします。

私のおススメ：廃線跡のサイクリング

趣味と運動を兼ねて、各地にある廃止された鉄道の線路跡をレンタサイクルで巡ることを最近始めました。

情報を見つけては近畿各地を巡っています。写真は兵庫県三木市を訪れたときのもので、10km近く走りました。廃線跡がサイクリングロードになっており、現役当時の駅や踏切などが残っている所もあり、鉄道が走っていた当手を想像しながら走るのは楽しく、いい気分転換にもなります。

今後も機会を見つけてサイクリングを楽しみたいと思ひます。



大阪市西部地域障がい者就業・生活支援センター 管理者 今井 布美

今年度の抱負

引き続き大阪市西部地域障がい者就業・生活支援センターの管理者を拝命いたしました今井布美と申します。今年度もよろしくお願ひいたします。

就業・生活支援センターは3年に一回大阪市のプロポーザルがあり、昨年度に行われたプロポーザルを経て、今年度から3年間新たに受託が決定しました。

今年度のセンターの目標は「寄り添いすぎず、寄り添う」にです。

寄り添うことは大切なのですが、度が過ぎると、本来持っている力を奪ってしまうかもしれません。しっかりとご本人と向き合い、一つ一つ相談しながら一緒に考えていきたいと思ひています。

私のおススメ：きれいな景色を見る！

これまでは、きれいな景色と言えば、海とか山とかと思ひていましたが、年齢を重ねるにつれ、きれいな

花、特に四季折々の花がたくさん咲いているのを見に行きたくなるようになりました。自分で育てることは苦手なので、たくさん咲いてるところに見に行きます。もちろん花だけでなく、周囲の景色も楽しめますよ。だいたい人混みの中を歩かずに済みますし、数年前に購入した一眼レフを首から下げて出かけるのは楽しみの一つです。



令和6年度の事業計画と予算について

3月28日に理事会を開催し、令和6年度における事業計画と予算が承認されましたので、それぞれについて概要のご報告いたします。

事業計画について

大阪市手をつなぐ育成会（以下、市育成会という）が平成7年（1995年）12月に設立されてから、障がいのある方を取り巻く状況は変化し、法制度改正から営利法人等の参入や、報酬改定では事業形態の変化など様々な影響を受けています。また、各事業所利用者の高齢化、障がい程度の重度化、建物や設備の老朽化による建て替えや大規模改修なども課題です。

このような現状の中、市育成会が今後も自立的・安定的な事業運営を行い、利用者に対する質の高いサービスの提供を継続するために、これまでに各種検討会やプロジェクトチームを組織し、具体的な解決に向けて意見交換を実施しており、令和6年度（2024年度）ではこれまでの検討経過や意見交換を踏まえ、より長期的な計画を策定していきます。

また、人材確保も大きな課題であり、令和6年度（2024年度）の法人全体目標として「お互いに育てあい、支えあい、尊重しあえる組織づくり」を掲げ、職員個々のスキルを事業所全体で高め、より良い支援に結びつけるために、職員間・事業所間で連携を図り結束することを目標に据えました。そして人材確保については、同業他法人の取り組みも参考にしつつ、安定した確保ができるような方策を検討していきます。